

各位

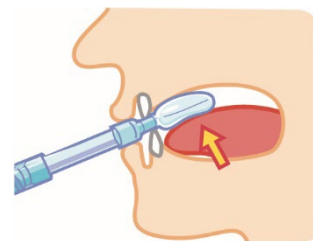
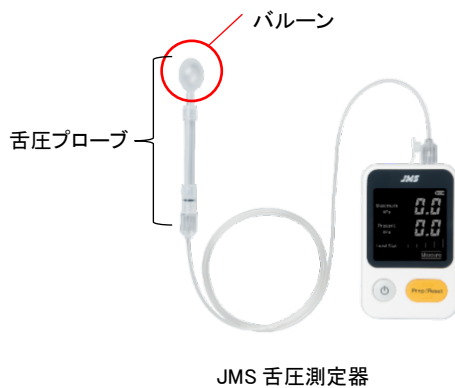
「JMS 舌圧測定器」の欧州での認証取得、販売開始 高齢化の進む欧州で口腔機能評価の重要性を普及促進

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：奥窪 宏章）は、2022年3月16日に「JMS 舌圧測定器」の欧州医療機器規則（EU-MDR^{※1}）の認証を取得し、欧州向けに4月15日より販売を開始いたします。

「JMS 舌圧測定器」は食べ物を飲み込むために必要な舌の力“舌圧（ぜつあつ）”を定量的に測定することができる日本で唯一の医療機器です。舌圧プローブのバルーン部分を舌で押しつぶす力を、舌の運動機能＝最大舌圧（ぜつあつ）[kPa（キロパスカル）]として測定できます。

高齢化率が世界で最も高い日本では、フレイル^{※2}の前兆となるオーラルフレイル^{※3}が口腔機能低下症として病名化され、2018年度より医療保険診療においてその診断や治療が行われています。高齢化等に伴い飲み込む機能が低下すると誤嚥性肺炎のリスクが高まるだけでなく、低栄養につながるため、口腔機能を維持することは高齢化社会におけるフレイル予防として世界でも注目されています。

「JMS 舌圧測定器」は2011年より日本国内で販売を開始し、2020年9月に韓国にも展開して参りました。この度、口腔機能低下症の概念を高齢化の進む欧州でも展開・普及させるべく、EU-MDRの認証を取得しました。今後はさらに米国やアジアも含め、グローバル展開を進めてまいります。



測定時の口の中の様子

バルーンを舌で潰して上あごに押し付けます

※1 EU-MDR：欧州で流通する医療機器の安全性及び有効性を高めるために、旧欧州医療機器指令（EU-MDD）と比較し、要求事項がより厳格化された新しい規則。

※2 フレイル：加齢により心身の活力が低下した状態。要介護状態に至る前段階に位置づけられている。

※3 オーラルフレイル：口腔機能に関するフレイル。滑舌低下や食べこぼし、むせなどの症状が現れる状態。

お問い合わせ先 株式会社ジェイ・エム・エス 経営企画部（電話）082-243-9059

（mail）pub-bpd@jms.cc